

武漢事務所便り週間新聞記事報告 2010.03.6 - 2010.03.12

2010年3月11日付け「長江新聞」により

湖北省の総合競争力、中国中部地域トップに

昨日、湖北省発展改革委員会は、中国社会科学院などの関連機関が発表した報告書「中国省地域経済総合競争力発展報告 2008 - 2009」のデータに基づき、2008年の湖北省の経済競争力が全国31の省レベルでの行政区ランキングにおいて、2007年より3つ順位をあげ、11位となり、中部地域ではトップとなったと報じた。上位3位は上海、北京、江蘇であった。「中国省地域経済総合競争力発展報告」は4年にわたり毎年公表されている。2006年のランキングでは全国13位を記録、中部地域6省の中では河南省に次ぎ第2位であった。2007年には山西省と並び、全国13位。2008年は、河南省と山西省を抜き、中部地域のトップとなった。

湖北省発展改革委員会は、今回のランキングについて、湖北省の順位が上昇した要因は、科学技術、教育、人材などの項目が重視されたことと、湖北省の科学技術、教育が発展し、人材と技術の優勢が明らかなことであると分析している。

情報によると、2006年以来、総合競争力の第一グループを継続してきたのは上海、北京、江蘇、広東、浙江、天津、山東である。

2010年3月11日付け「長江新聞」により

「台湾・湖北省ウィーク」

～来月台湾で開催 両地の交流を促進～

昨日行われた武漢市台湾事務会議の情報によると、今年、武漢市は「台湾・湖北省（武漢）ウィーク」と「辛亥革命武昌蜂起を記念・武漢文化ウィーク」などの二つの重点プロジェクトを展開し、武漢と台湾との経済貿易並びに文化交流を促進する。

4月、開催予定の「台湾・湖北(武漢)ウィーク」は、湖北省が初めて台湾において開催する大規模かつ総合的な経済貿易交流イベントである。当日、武漢市は台北と台中などの地域で六つの大きなイベントを行う予定である。科学教育、商業貿易、交通などの分野におけるメリットを宣伝し、台湾の大企業、ハイテク技術企業と近代農業企業の交流と協力をさらに深める。

そのほか、9月、武漢市は台湾で「辛亥革命武昌蜂起を記念・武漢文化ウィーク」を開催する。このイベントは「辛亥革命武漢蜂起を記念して」というテーマを主力に置き、2011年に開催される予定の辛亥革命武漢蜂起100周年を記念するために雰囲気盛り上げる。